

事業所名 放課後等デイサービス にこにこパーティ (児童発達支援) 支援プログラム (参考様式) 作成日 2025 年 3 月 15 日

法人 (事業所) 理念	地域福祉の推進者になる。困りごとに手を差し伸べよう。		
支援方針	一人ひとりに合わせた環境設定を行いながら、食事・排泄・着脱・清潔・身辺の自立を高め、見る・聞く・身体を動かす・大人と一緒に豊かな経験をし、安心して自分の気持ちを伝え、意思決定が出来るよう支援します。また、ご家族とともに成長を見続け、ご家族に寄り添える家族支援、移行支援を行います。		
営業時間	平日 9 時 00 分から 18 時 00 分まで 土・祝・長 8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所スケジュールにて、毎回体温測定・表情カードでの気分の把握に努め、ご家族に毎日記入していただいている健康記録表 (体温、体調状態、睡眠) の確認し、個々の身体や情緒の健康状態の把握と観察を行う。 ・構造化を意識した動線の視覚化と文字と絵カードでのスケジュール提示を行い、手洗い・排泄・着替え・食事 (おやつ等含む) の流れに沿った動作の練習を行う。 ・基本的生活スキルの習得に向けた支援を行う。(排泄の練習、水分補給の促し、食具の使い方や咀嚼の練習、身辺整理、着替え) 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な姿勢の保持や動作の基本的技能の向上を目指し、ラジオ体操、トランポリンを毎回行い体を動かすことの習慣化と筋力維持、上肢・下肢の運動・動作の習得、関節の拘縮や変形の予防を図る。また、リハビリの同行や見学を行い個々に合った運動やストレッチを行い、座位や歩行の際の負担軽減に繋げる。 ・散歩やプール遊びなどの有酸素運動を行い、ストレスの発散や情緒の安定を図る。 ・ボール遊びや風船バレー、ポウリング、なわとび等の道具を使った運動や遊び、サーキット等を行い、保有する感覚を十分に活用できるような定期的に取り組む。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・出席表にて日付の確認シールの貼付や天気・気温の確認による感覚・数の認知形成を行う。 ・一人ひとりに合った認知の特性を理解し、子どもが自分に入る情報を適切に処理できるよう、形、サイズ、見え方等を工夫したスケジュールカードや手順書の提示を行う。 ・色・形・数字・文字・イラスト等のマッチングや、ブロックや積み木、段ボール等の立体的なものを使った制作活動、楽器やリズムを使った音楽遊びを楽しみながら行う。 ・行動障害の予防と対応：感覚や認知の偏りへの対応として、個室でのクールダウン・パーテーション・イヤーマフの使用や視覚的支援を行う。適切な行動の促しにおいては、適切な行動を見本のイラストで提示したり、適切な行動が出来た際には、その子どもに分かりやすく称賛 (手で○を示したり、身振りでグッドのサイン、拍手) する。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの発達や特性、興味・関心に即して、言葉以外でも表情・身振り・サイン・絵や写真カード・文字や各種機器を用いて意思のやりとりを行う。 ・朝の会で名前呼びや今日の体調や気分・気持ち、帰りの会では活動の振り返りと気持ちを発表し、言語の表出・受容に繋げる。 ・個々に応じた線のなぞり書きや点結びなどから文字のなぞり書きへ徐々に移行し文字の習得に繋げる。読み聞かせやかるた、50音表を用いて文字への興味を持ち、能力の向上を促す。 ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化する。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者と一緒に活動や課題に取り組んだり、遊びや日々の関わりを通して信頼関係を構築していく。 ・集団活動では、小集団や異年齢のグループ活動を行いながら、ルールのある遊びや役割のある活動など協同活動を通して社会性の発達を養う。 ・個別・小集団・大集団での外出活動を通して楽しみを共有し非日常を味わうことで他者との信頼関係の構築したり、公共の交通機関を利用して社会とのつながりやイベント等を通じた地域との交流を行う。 ・お手伝い活動や共同制作・クッキング・SDGs (分別作業) 等を通して仲間づくりと集団活動への参加を行う。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況や日々の変化に対する情報の共有や成長の共感、確認を行う。また、茶話会等を開催し、保護者同士が気軽に話せる機会や場を提供する。 ・家族 (きょうだいを含む) からの相談への適切な助言、家族のレスパイト、就労確保の預かりニーズに対応する。 ・障がいの特性に配慮した家庭環境の整備や愛着の安定へ繋げる。(家庭訪問、個人面談) ・広報紙、BAND (SNS) を活用した情報共有。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備。 ・移行先 (保育園、学校、卒業後の進路先) との情報の交流や見学、会議等への参加を行う。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関わる地域の関係者、関係機関 (保健・医療・福祉・教育)、相談支援事業所との情報の共有や連携を図る。 ・地域のイベントへの参加を行う。 ・SDGsの取り組み活動を通して地域の方との交流を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修サービス「リーン・オン・ミー」を活用し個々に応じたプログラムによる研修。 ・職員による担当別勉強会や外部の講師による療育支援指導を定期的に行う。 ・県内外の研修や視察、県域のスキルアップ研修への参加を行う。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日・長期休業等にイベントの開催や参加、卒業旅行などの県内外への外出を行ったり、親子行事を開催している。 ・通常に活動においても季節に応じた活動 (花見、水遊び・プール、クリスマス会、餅つき、初詣、節分、ひな祭り) を取り入れている。 		